



栃木県生協連

2012年度5月定例報告

2012年5月17日

栃木県連 専務 鎌柄

(1) 4月活動日誌

日付	曜日	日誌
4月4日	水	労福協幹事会
4月6日	金	栃木県県民生活部長挨拶
4月7日	土	いわき市仮設へのお茶会ボランティア
4月9日	月	国際協同組合同年ワーキングチーム会
4月10日	火	くらし部会・拡大学習会
4月11日	水	職域部会
4月12日	木	食の安全ネットワーク世話人会
4月15日	日	NPOサポートネット理事会
4月17日	火	ふれあいお茶会
4月19日	木	県連理事会、労福協・福祉まつり実行委員会
4月20日	金	協同組合まつり実務担当者会議
4月21日	土	とちぎ労働福祉事業団・ソーシャルファーム長岡開所式
4月23日	月	県連監事監査
4月24日	火	栃木労生協理事会
4月25日	水	富士重工生協清算総代会
4月26日	木	労福協幹事会
4月28日	土	労福協・福祉まつり

※まとめは概況とします。

(2) 4月活動の概況

(会員の動き)

4月20日ふれあいコープ特別養護老人ホームみどりの隣接地に、地域密着型特別養護老人ホーム「みどりの樹」の祝賀会が、地域の方々や関係者を招いて行われた。特養みどりの「50床」に加え、みどりの樹「29床」を加えると79床になり、地域での期待に応えられると同時に、連携した運営が可能なことから経営面でも安定に結びつくことも期待される。

21日は、とちぎ労働福祉事業団が設立した「一般社団法人ソーシャルファーム栃木」の長岡（宇都宮市長岡）事業所の開所式が学習会も兼ねて行われた。今後、農業生産・収穫・加工・販売を通して担い手育成などを含めた障害福祉サービス事業所（就労継続支援B型）として、取り組んでいく事が報告された。

2会員の地域での新たな挑戦と取り組みは、2012年度の実績と新たな基盤づくりにつながることを期待したい。

(宇都宮市内と福島県で避難されている方々のふれあいお茶会)

4月17日ふれあいコープの特養みどりで、福島県から宇都宮市内に避難されている方々に対する第8回目の「ふれあいお茶会」が開催された。今回は大人15名の方、お子さん1名（内浪江町の方7名、大熊町の方2名、双葉町の方2名、南相馬市の方1名、福島市の方1名、須賀川市の方1名、飯館村の方1名、福島県庁の方2名、主催者スタッフは12名（とちぎコープ、よつ葉生協、NPOウィズ、県連）の参加があった。福島県行政の方2名、とちぎボランティアNPOセンターぽ・ぽ・らの方1名、県社協の方2名、下野新聞の方1名の参加があった。回を重ねて、今後につながる場になってきている。

(いわき市中核工業団地内仮設でのお茶会)

4月7日いわき市四倉中核工業団地内の仮設のつながりづくりの支援として、第2回目のお茶会を開催した。参加者は広野町から避難されている方々、16名、主催は絆センター、市民工房、県連。参加は県連会長、参加スタッフ（とちぎコープ6名、よつ葉生協2名、県連1名）11名で、2回目お茶会で、前回来られた方が2/3位、新しい方が1/3位。少し顔見知りになれた方々もあり、お茶や軽食でのお話し、女性の方々は理事さんが用意したフェルトを使ったポップ入れづくりなども楽しまれた。

(EAST LOOPへのご協力のお願い)

岩手、宮城など被災された方々が製作されているハートブローチについて、485ヶ普及が進められた。会員でも組合員さん向けに普及の準備が進められている。

(部会関係の取り組み)

4月10日くらし部会拡大学習会として、「福島原発事故から見えるもの」をテーマに学習会を開催した。福島県生協連熊谷純一会長においでいただき、同生協連製作のDVDを交えてお話いただいた。福島県における津波と原発事故からの復旧と復興が見えない状況におかれている現状が、参加された方々に受け止められた。約50名の参加があった。



(講師の福島県 生協連熊谷純一会長)

同日の定例くらし部会では、(仮)「食の安全安心とちぎ消費者セミナー」の開催に向けての意見交換、会員報告が行われた。

11日職域部会が開催され、3会員8名の参加があった。職域生協の経営と体制上の厳しさや、参加会員数も限られなどの条件もあり、今年度は後2回（7月、2月に）開催とすることが確認された。

(食の安全課題の関連)

4月12日食の安全ネットワークの世話人会が開催され、2012年度計画案と栃木県くらし安全安心課からの提案の委託事業（仮）「食の安全安心とちぎ消費者セミナー」

についての意見交換の上、ネットワークとして受託の方向性とプロジェクト発足が確認された。

4月24日県くらし課からの受託事業の第1回プロジェクト県内10～15会場を目安に（仮）「食の安全安心とちぎ消費者セミナー」の講師候補が出し合われた。

（消費者課題の関連）

5月7日に消費者ネットワークの幹事会を予定している。2012年度計画案について意見交換を予定している。

（国際協同組合理年）

4月20日に実務担当者会議を開催した。協同組合理年の日程は、6月23日（土）、10～15時、会場マロニエプラザ、総予算400万円、スローガン‘みんなでつながろう、協同組合の輪！’（IYCスローガン：「協同組合が、よりよい社会を築きます」）詳しい団体からの出展内容を5月10日締め切り予定で集約中。

9日国際協同組合理年のワーキングチーム会第8回目が7会員12名の参加で開催された。会員報告を一通り終え、「協同組合の役割と未来」第2章の学習では、「全国森林組合連合会、全国労働金庫協会編」について、一般社団法人コープ福祉とちぎの澤田望さんから報告と意見交換が行われた。また、「2012年国際協同組合理年ってなに？」パンフレットをもとに意見交換や感想が出された。更に、宇都宮大学の原田淳准教授からコメントをいただいた。

（3）5～7月の課題

1. 5～7月部会活動の推進
2. 5～7月ネットワーク活動（食の安全ネットワーク全体会、消費者ネットワーク全体会、福祉ネットワーク）推進
3. 2012年国際協同組合理年栃木県実行委員会「協同組合理年」の準備と成功
5. 栃木県生協連内の国際協同組合理年ワーキングチームの活動推進
6. 震災被災地・被災者への支援・ボランティア派遣

(平成24年度上期・栃木県・関係団体等関係行事の事前のお知らせ)

栃木県主催「消費者のつどい」

- ・日 程 5月30日(水) 13時～
- ・会 場 栃木県総合文化センター・サブホール
- ・基調講演 講師 全国消団連 阿南 久 事務局長

栃木県・とちぎ食の安全ネットワーク共催

「第9回とちぎ食品安全フォーラム」2会場で開催

- ・日 程 6月20日(水) 13時半～16時半
- ・会 場 那須塩原市 三島ホール
- ・日 程 7月 4日(水) 13時半～16時半
- ・会 場 栃木県総合文化センター・サブホール
- ・予定テーマ 仮題・食品中の放射性物質の新らたな基準値について

国際協同組合年栃木県実行委員会主催「協同組合まつり」

- ・日 程 6月23日(土) 10時～15時
- ・会 場 マロニエプラザ
- ・内 容 展示・販売など約50ブース
- ・スローガン ‘みんなでつながろう、協同組合の輪!’
(国際協同組合年スローガン:「協同組合が、よりよい社会を築きます」)

栃木県生協連「第43回通常総会」

- ・日 程 6月29日(金) 14時～
- ・会 場 とちぎ福祉プラザ・3階福祉研修室